

ご連絡ください

電話
Tel. 022-795-4869

メール
E-mail: info@iisrc.ecei.tohoku.ac.jp

展示会 など

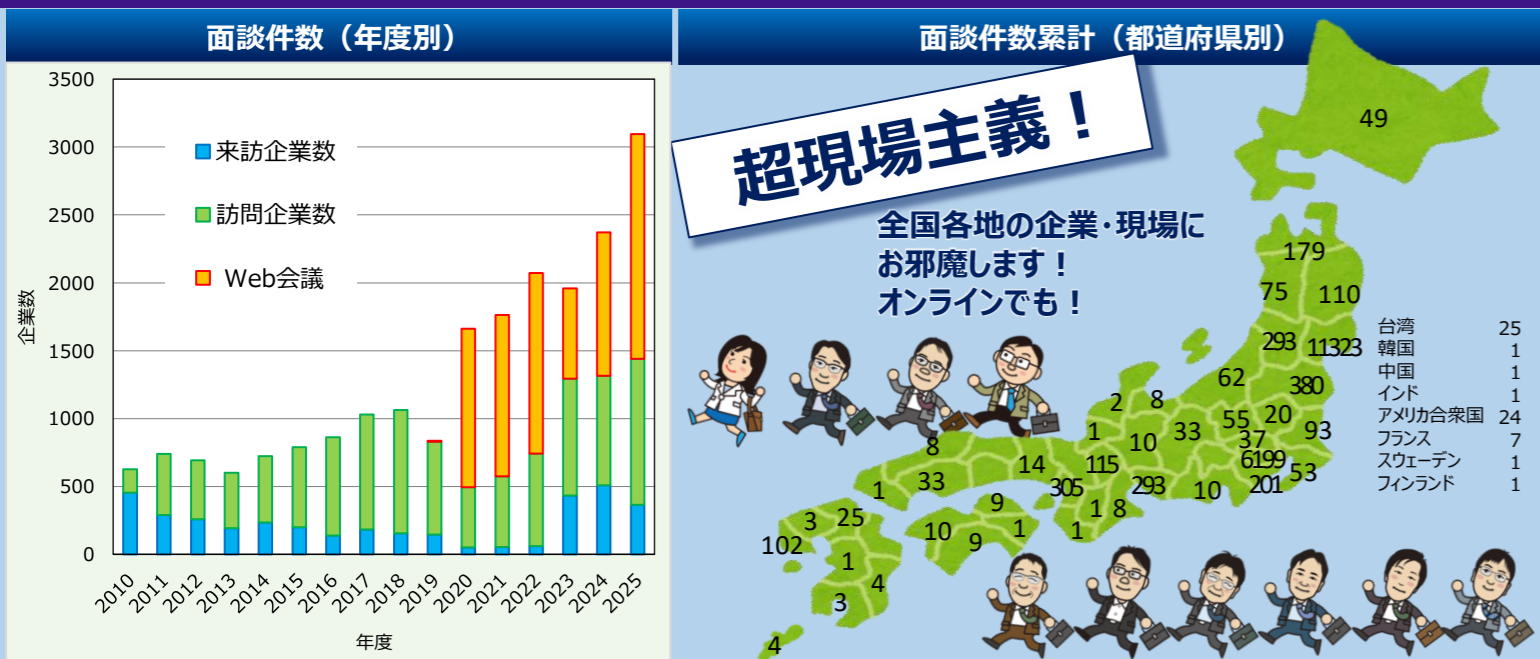
ディスカッション

東北大学
オンライン
御社・現場へ など

課題解決へ

- 課題の抽出、整理
- 大学シーズ紹介
- 競争的資金獲得支援
- 企業間マッチング
- 製品化フォロー など

実績



競争的資金獲得額			共同研究等	
項目	金額	件数	項目	件数
2010~2024年度	38億6,740万円	101件	2019年度~2024年度	112件
2025年度	3億4,200万円	4件	2025年度	18件
合計	42億940万円	105件	合計	130件

支援企業へのアンケート結果

年度	回答数	新規事業売上高	新規雇用者数
2010~2024年度	313社	39億9,829万円	148名
2025年度	12社	1億2,275万円	4名
合計	325社	41億2,104万円	152名

みなさまの声 (メリット・要望)

T社I様
大学の先生や仙台市との連携を支援いただける。

N社D様
技術深耕と弊社新事業創出に向けて、東北大学様との共同研究を開始できた。

N社S様
地域における産学官連携のきっかけづくりや、関係者をつなぐハブとしての役割を担っていただいていると感じています。

H社H様
企業間の交渉において、東北大学と連携しているという事を伝えると、反応が良いケースが多いです。

E社M様
新規事業を行う際に、きちんとした学術の裏付けや対処方法を教えていただけること。

B社K様
難しい検査や研究開発についての相談ができる。継続して支援頂けると助かります。

H社Y様
産学連携マッチング、各種共同研究補助金取得等、東北大学のシーズによる課題解決のご支援をいただき、またこれまで紹介された各先生方に課題解決の相談を継続してできる環境を構築していただいた。

お問い合わせ

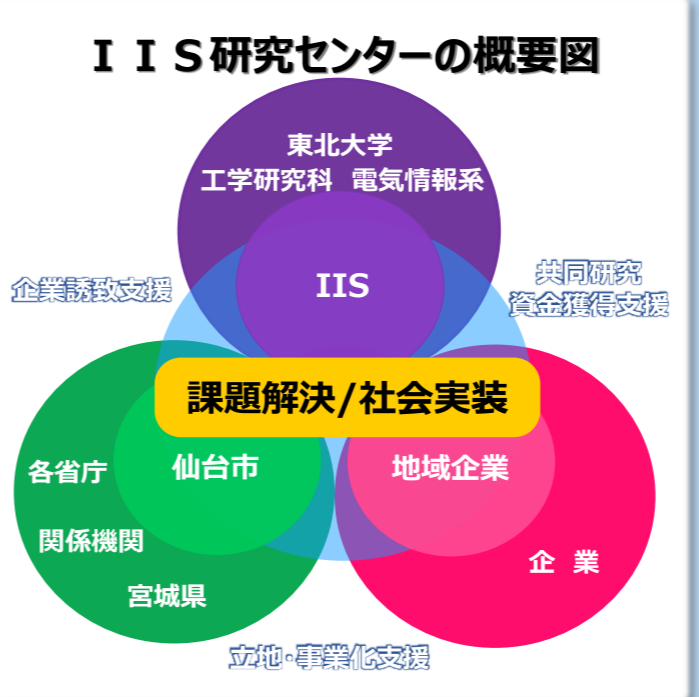


東北大学 情報知能システム研究センター

Intelligent Information System research center (IIS研究センター)

電気情報系約60研究室の総合力と相互連携による産学官連携を推進します。

IIS研究センターは、東北大学と仙台市が共同で2010年に設立した産学官連携のイノベーション拠点です。企業目線を重視し、大学の技術を活用しながら研究開発や事業化を支援しています。産業界や官公庁とも連携し、スマートシティや水産業、医療分野など幅広い分野で活動しています。近年では地域経済の発展を目指し、2024年度の半導体産業における台湾派遣や体制強化、2025年度のフィジカルAI領域への注力など、最先端の取り組みを推進しています。これからも社会課題の解決と地域の持続的成長に取り組んでいきます。



メンバー

センター長	副センター長	運営委員
 工学研究科 教授 大町真一郎	 工学研究科 教授 遠藤 哲郎	 情報科学研究科 教授 青木 孝文
 電気通信研究所 教授 白井 正文	 電気通信研究所 教授 石山 和志	 情報科学研究科 教授 篠原 歩
 情報科学研究科 教授 青木 孝文	 電気通信研究所 教授 羽生 貴弘	 医工学研究科 教授 松浦 祐司
 電気通信研究所 教授 白井 正文	 情報科学研究科 教授 青木 孝文	 マイクロシステム融合研究開発センター 教授 戸津健太郎

スタッフ

 特任教授 館田あゆみ	 特任教授 山田 健一	 特任教授 田谷 紀彦	 特任教授 鹿野 満	 特任教授 中川 弘靖	 特任教授 酒井 聡	 特任教授 服部 靖之	 特任教授 新田 雅	 特任准教授 山越 淳司	 特任助教 川合 雄太
----------------	----------------	----------------	---------------	----------------	---------------	----------------	---------------	-----------------	----------------

産学官連携事例

宮城県仙台市の2エリアにおいて自動運転バスの実証実験を開始～通信の安定性確保と都市OSとの連携による環境情報の活用にて安全な自動運転の実現をめざす～ 総務省令和6年度補正予算「地域社会DX推進パッケージ事業（自動運転レベル4検証タイプ）」



車外のカメラやセンサーによって周囲を検知しながら走行

実証場所・運行期間
 ① 東部北ルート(片道約10km) 2025年11月27日～12月7日
 ② 秋保ルート(片道約29km) 2026年1月19日～1月30日

実施内容
 複数キャリアネットワークやローカル5Gを効率的に組み合わせて、自動運転走行時の途切れない通信、及び災害情報や工事情報、路面状況等の環境情報を活用した自動運転制御を検証

オンライン診療のさらなる活用に向けた実証

医師不足が深刻な地域において、診察カーを活用したオンライン診療を実施




秋保ウイナリー離陸

実施内容
 ● 2025年度は広域連携の取組みを加速。日本郵便と連携し、気仙沼市において郵便局の駐車場を活用した診療デモンストレーションを実施
 ● 診察から薬剤受け取りまで一気通貫のシステム構築を目指し、ドローンを活用した薬剤配送実証を実施

東北大学・陽明交通大学・仙台市の連携（台湾との連携窓口）

- 東北大学IIS研究センターの身分をもった仙台市職員を軸に、陽明交通大学臺日交流推進辦公室の活動を支援
- 半導体分野を中心に、両大学の共同研究や連携事業の企画調整、産学連携の推進等を通じ、地元企業と台湾企業の協業促進をサポート



活動支援
 相互補完的な共同研究の増加
 両大学の半導体研究を
 世界最高峰へ

支援強化
 材料科学・半導体設計に係る世界的な大企業

人員派遣
 新竹科学園區等の台湾半導体企業群

仙台市
 仙台市内のICT企業群

第2回台湾・日本グローバルパートナーシップ 半導体・イノベーションスタートアップフォーラム 2025年7月@九州大学

日台半導体共創カンファレンス (半導体設計関連) 2026年3月@東北大学

地元仙台の企業と台湾企業・関係機関等による台湾でのマッチング・訪問の様子

SEMICON Taiwan 2025 2025年9月@TaiNEX 1&2

Meet Taipei2025 2025年11月@台北Expo Dome

四足歩行ロボット | 建設現場における巡視・監視業務効率化

総務省令和6年度補正予算「地域社会DX推進パッケージ事業(AI検証タイプ)3」



AIカメラ搭載の犬型ロボット

画像解析AI 犬型ロボット

実施内容
 仙台市役所本庁舎の建設現場において、四足歩行ロボットを活用した巡視・監視業務の効率化に関する実証を実施

四足歩行ロボット | 農場における鳥獣害対策

総務省令和6年度補正予算「地域社会DX推進パッケージ事業(AI検証タイプ)3」



60GHz WiGigユニット
 エッジAI関連機器
 ・小型ドームカメラ
 ・Jetson (NVIDIA)

Unitree B2
 巡視ロボット (4足歩行)

実施内容
 ● 東北大学農学研究科の農場において、四足歩行ロボットを活用した鳥獣害対策に関する実証を実施。
 ● AI搭載カメラによる鳥獣感知機能の有効性について検証を実施。

仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会

特区制度や各種国プロジェクトと連動しながら、次の時代を見据えた新たなプロジェクト創出を重ね、仙台・東北発の大きなムーブメント/新たな機運の醸成を目的とした産学官プラットフォーム

2025年度 分科会開催の様子

- ゼロカーボンシティ分科会
- ウェルネス分科会
- まちのレジリエンス分科会
- まちの活性化・回遊分科会

85団体 が参加 (2025年8月1日時点)

会長 (仙台市長) 総会

幹事会
 東北大学 仙台市

委員 (東北大学総長) 仙台市長 副市長

総務 (市トータル) アーキテクト
 東北大学 仙台市

分科会
 東北電力(株) 東北電力(株) NECソリューション(株) 東京海上日動火災保険(株) 東日本電信電話(株)

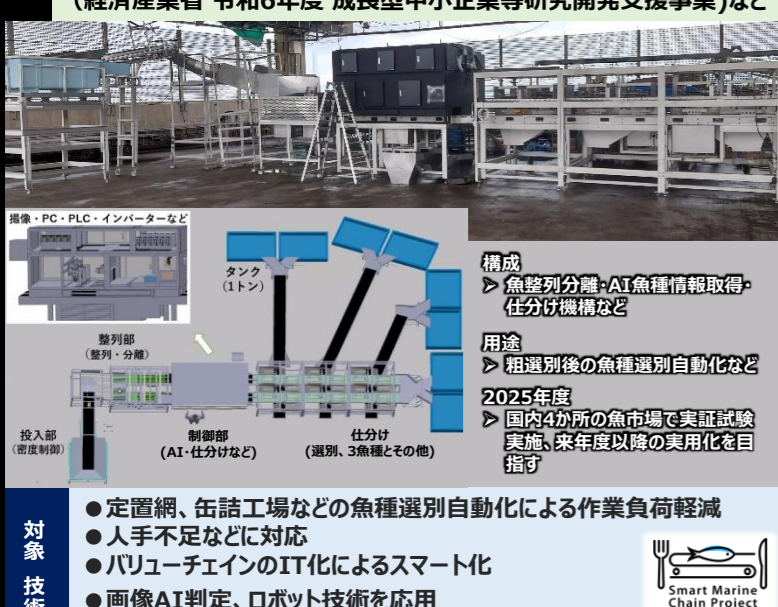
賛助事業
 ゼロカーボンシティ分科会 会長：東北電力
 ウェルネス分科会 会長：NECソリューション(株)
 まちのレジリエンス分科会 会長：東京海上日動火災保険
 まちの活性化・回遊分科会 会長：NTT東日本

二般会員
 ● 2022年1月 産学官共同プロジェクト「仙台市×東北大学スーパーシティ構想推進協議会」設立
 ● 2023年10月 「仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会」に改称

賛助会員
 東北大学 仙台市 東北電力(株) NECソリューション(株) 東京海上日動火災保険(株) 東日本電信電話(株)

「デジタル技術を搭載した定置網等の水揚げ全数魚種選別システムによる魚市場のスマート化実証事業」

(経済産業省 令和6年度 成長型中小企業等研究開発支援事業) など



構成
 魚整列分離: AI魚種情報取得・仕分け機構など

用途
 粗選別後の魚種選別自動化など

2025年度
 国内4か所の魚市場で実証試験実施、来年度以降の実用化を目指す

対象技術
 ● 定置網、缶詰工場などの魚種選別自動化による作業負荷軽減
 ● 人手不足などに対応
 ● バリューチェーンのIT化によるスマート化
 ● 画像AI判定、ロボット技術を応用

テーマ	実施年度
外観検査用産業用ロボットを高度化する画像処理組み込みソフトウェアの開発と事業化	平成22年度
拡散光制御(DLC)理論に基づくフロントスクリーンの超精密成形技術を基盤とする製造技術の開発	平成22年度
「災害に強いネットワークを実現するための技術の研究開発」(重層的通信ネットワーク)	平成23年度
魚・食肉等のX線残骨検査における自動検出装置の開発	平成24年度
動的に変化する物体形状に合わせた映像投射を実現するためのスクリーン面マーカー構成形成ならびに評価技術の確立	平成24年度
超音波エコー画像を用いた魚の雌雄判定自動化装置の開発	平成25年度
福島県伊達地域 “IT桃” 実現に向けた活動	平成26年度
分光イメージング技術の農産物品質管理への適用検討	平成27年度
AIを活用したサバ種の自動選別装置	平成27年度
ペビーホタテの自動ウロ取りロボットの開発	平成28年度
AIによる水産加工での見える化	平成29年度
虫発生状況の迅速評価システム	平成29年度
定置網等の魚種選別自動化	令和元年度
タイヤ脱着作業の自動化	令和元年度
COVID-19陽性者搬送車内の気流を可視化	令和4年度

マシンインテリジェンス研究会

2010年～「マシンビジョン研究会」として画像処理を中心とした研究活動を東北経済産業局主導で実施。2015年に企業による自立的運営に移行し「マシンインテリジェンス」分野に活動を拡大。

VISION
 産学官連携の研究活動・WG活動
 オンリーワンの革新的なものづくり
 東北発!
 イノベティブな製品開発

活動内容
 1 情報交流
 2 ニーズ・シーズ調査
 3 マッチング設定
 4 広報活動
 5 教育活動

活動を通じて…
 会員企業の技術力向上
 会員企業の広報活動
 会員相互・会員と研究機関・会員とお客様のビジネスマッチング
 を実現し、知的情報技術における東北地域のブランド価値を高めます。

情報交換会の様子
 第26回情報交換会 2025年3月@青葉山コモンズ
 第28回情報交換会 2025年11月@青葉記念会館
 第29回情報交換会 2026年3月@さくらホール